奈良1区市民連合
安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める
奈良１区市民連合ニュース
NO47
発行
2026.10.29

主権者は私たち！
民主主義をとり戻すために、「市民と野党の共同」を立て直そう



―10.3奈良1区市民連合第７回総会報告―

10月3日奈良1区市民連合第7回総会が行われ、44名の参加、11名による活発な討論が行われました。議長に前圭一さんを選出し、八木健彦共同代表が「今『主権者は私たち』のデモ。気候変動による激甚災害で多くの国民が放置されている。政治を自分たちに取り戻そう」と主催者挨拶。来賓挨拶に続き、坂下淑子事務局長が運動の総括と方針について、「2月の総選挙で国会は焼け野原となったが、今ペンライトの灯りが暗闇を灯し始めている。市民連合は市民と野党だけではなく、市民と市民をつないでいく役割を果たしつつある。1年間で38名の会員増。これまでのとりくみに確信をもって、地域交流会を中心にさらに運動を広げていこう」と提案、奈良市民連合の再編についての報告、再来年の参院選に向けての方針の提案を行いました。地域交流会については佐川愛子共同代表が、各地域独自でペンライトデモが企画されたこと、学習会の内容も充実、進化してきていることなどの報告を行いました。

佐川道夫会計担当より2025年度の会計報告と2026年度の予算について提案があり、園部勝章会計監査より適正との報告が行われました。

討論終了後まとめとして坂下事務局長は、馬淵前議員の来賓招待に疑問を呈する発言に触れ「馬淵前議員とは、2月の衆院選にて奈良1区市民連合と政策合意をした関係がまだ継続中であることから問題はないと判断した」と説明、今後政策協定については「中道で落選した議員の中から『護憲リベラル共生』という新たな政治団体が立ちあがったことなども踏まえ、政党だけで判断していくのではなく、政策で一致できる個人としても判断していく可能性もある。そのための運動を下から作っていきながら、選挙後焼け野原となった状態からの市民と野党の共同の立て直しをしていきたい」と述べました。閉会にあたって佐川共同代表が「地域交流会でのとりくみは地方自治を作っていく力になる。今高市政権のもと、一人ひとりが立ち上がっている。日本型の市民の革命ではないか」と挨拶を行いました。総括並びに新年度方針、予算、新役員については全て承認されました。

来賓あいさつ

奈良２区市民連合事務局からと、立憲民主党奈良県総支部連合会代表樋口清二郎様よりメッセージをいただきました。



【池本昌弘市民連合中南和共同代表】再来年の参院選に向けて組織を立て直し、3市民連合で力を合わせていきたい。「主権者は私たち」、私たちに選ぶ権利がある。市民の声が反映される議員を作っていき、選択肢を広げていく。



【馬淵澄夫前衆院議員】衆院選では惨敗。責任を重く受け止めている。「安保３文書」の改定、日本の防衛の構造が大きく変わる。高市政権は国民に何の情報も示さず、審議すら認めない姿勢。野党はくじけないでほしい。平和と暮らしを守ることに全力を尽くしていきたい。次の国政選挙で復帰を目指す。

【日本共産党奈良県委員会鎌野祥二委員長】奈良においても「憲法守れ、平和を守れ」の運動が大きく広がっているのは希望。要求アンケートにもとづき、直接政府に要請。５日からの国会、高市政権が狙う改憲と大軍拡、戦争準備につながるあらゆる企てを許さない。



【社会民主党奈良県連合会黒川恵三代表】高市政権、憲政史上最悪。少数政党だが厳しく追及。臨時国会では食料品の消費税減税、衆院定数削減法が焦点になるが、高齢者、低所得者の問題は未解決。地域の活動が重要。





【みどり奈良大森万蔵代表】どんな世の中をめざすのかという論議が必要。アンチ高市だけでなく、自分たちで新しい基準を作っていく。自分たちで自然再生エネルギーを作っていこうと舵を切ると一気に変わる。



【新社会党福井義博奈良県支部委員長】高市政権、大幅な軍拡、民主主義を破壊する国旗損壊罪などこれまでの自民党政権もやってこなかった。絶対に許すわけにはいかない。野党の共闘で政権交代をめざしていきたい。

総会発言要旨

荒井真由美さん　奈良市が自衛隊に名簿提供。息子に勧誘はがきが届く。奈良市は戦争する国づくりの下請けではなく、市民を守る立場に立ってほしい。

東良江さん　小さい9条の会のJR奈良駅前19日行動、「私は戦争しない」と立つことはできるとたった3人で始めた。300人、3000人と集まったら変わるかもしれない。

浅岡元子さん　9月能登にイベントのお手伝いに。主催者の思い、我慢せずに国に対して必要なことを言っていく、そのために被災者が元気になることが大事。

林弥富さん　憲法を変えないでも、緊急事態条項を入れることによって、自衛隊を戦争に送ることができる。国会の議決を経ないで、安保３文書も決定する。危険だ。

園部勝章さん　孫が高校入学。教科書は無償だが、参考書などは有償。教育にどんどん経産省が入り込んできて、公教育を民間に委ねていこうとしている。

糸谷哲郎さん　富雄南地域交流会のとりくみ。吉田佑子さんの遺志を受け継ぎ、様々な学習会を開催してきた。パレスチナ連帯凧揚げアクション今年も行う。

玉浦勝康さん　ほうその奈良の会。小西誠さん講演会、粟原神戸市議の講演会、自治の重要さを学ぶ。6月には第3回総会を開催。7月には署名2099筆を副市長に手交。

水谷祐一さん　ペンライトアクションを7回開催。政治は生活そのもの。戦争をさせない、法の支配を守らせ、国民の生活を守らせることが大事。

加藤勇さん　年金問題、基金は十分にあり、物価高騰を上回る年金支給は可能。主権者は私たち、学び合いと対話で共闘の土台を作っていく。

井上靖章さん　生駒地域交流会、豪雨災害が話題に。治水や治山は行政の責任、規制が必要。公共をとり戻すことが大事。市民が野党を引っ張っていこう。

加来洋八郎さん　憲法の問題だけでなく、トランプ大統領べったりの高市首相の姿をもっと明らかにしていくことが重要だ。

文書発言

《**中村康郎さん**》西大寺・秋篠・あやめ池・学園前地域交流会世話人会での情勢討議が非常におもしろく、不可欠。

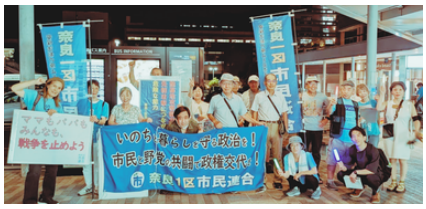
《**園部典子さん**》今市民連合は難しい局面に。戦争ダメという一致点を大事にして広げていくしかない。

《**山崎道子さん**》11月7日唐招提寺の久保孝戒長老の講演、たくさんの人に来てほしい。平和な奈良に。

《**石川直太さん**》憲法をきちんと学べる教材として「王様をしばる法」がおすすめ。

高市政権NO！　タウントーク報告

平和を守れ！憲法守れ！生活守れと訴え



第51回8.29　学園前南口

《**前圭一さん**》安倍元首相銃撃犯山上被告への温情ある判決を。旧統一協会、元はスパイ防止法の制定に躍起になっていた勝共連合。憲法を守る政府を作ろう。

《**檜垣泰弘さん**》奈良市から自衛隊への若者の名簿提供、個人情報提供はプライバシーの侵害として損害賠償の訴訟を起こしている。奈良市は個人情報を守ってほしい。

《**大山三樹夫さん**》高市政権誕生して10ヶ月。皇室典範の改正、女性の後継を認めない。経済の破綻、貧困、年金問題、膨れ上がる軍事費などがっかりすることばかり。

《**山崎道子さん**》8月は平和や原爆のことを考える時。浄教寺の住職の話、人間の欲望は果てしない。みんなが大事にされる社会に。

《**武本浩資さん**》若者の望む平和、毎日笑って美味しくご飯が食べられること、楽しく友だちと話せること…。若者が歴史的な接続の役割を果たしていきたい。

《**石川直太さん**》エネルギーも食料も自給できない日本に継戦能力なんかありえない。まずは食料とエネルギーの自給から。

8月29日は学園前南口で6名の方のトーク、9月26日は西大寺駅コンコースで8名の方のトークが行われ、それぞれ中身の濃いものとなりました。両日ともデモカレンダーを見て参加してくださった方が4名、3名。若者の参加に新鮮さが加わり、励まされるタウントークとなりました。参加された皆さんありがとうございました。



第52回9.26 西大寺駅コンコース

《**村上敦子さん**》スパイ防止法はスパイを処罰するだけではない。戦争準備と切り離しては考えられない。物言う人間だけでなくみんなの問題。

《**木村宥子さん**》11月7日唐招提寺久保孝戒長老を迎えての講演会。戦争は誰も幸せにならない。どうやって平和を作っていくか、お話をしていただく。

《**桝井隆志さん**》高額療養費、上限が上げられ、OTC類似薬も自己負担に。金の切れ目が命の切れ目に。病院勤務者が減少傾向。労働環境の改善を。

《**上山真理さん**》介護士の人権が守られていないと安心して介護を受けられない。低賃金労働なので介護報酬をあげてほしい。署名もしていきたい。

《**石川直太さん**》内閣広報費の予算、72億円に増額。改憲への道だ。情報公開請求が必要。民主主義が壊れる。金儲け目当てのSNS選挙も問題だ。

《**八木健彦さん**》無法者のトランプ大統領に対し、高市首相はICC赤根所長への制裁の撤回はひと言も触れず。憲法の破壊と同じ。ICCを守っていこう。

《**山崎道子さん**》奈良市は非核宣言都市。8月15日お寺で平和の鐘を鳴らす。その寺社仏閣の近くにミサイル弾薬庫。平和な奈良を守っていきたい。

《**園部勝章さん**》孫が高校入学。参考書にタブレットとお金がかかる。経産省が教育に口出しをするようになった。教育が金儲けの道具にされている。



10.18原発つづけるための乾式貯蔵NO!全国集会@高浜
～使用済み核燃料の行き場はないぞ～

原発ゼロ・被災者支援奈良のつどい実行委員会
堀田美恵子

原発の使用済み核燃料のゴミ箱の満杯が近づいている。ゴミ箱を新しく作らない限り原発の運転は続けられない。それで、「乾式貯蔵」という置き場を原発敷地内に作ろうという計画が進んでいる。最近届く脱原発団体のニュースに原発を進めることに未来はないと断定しているものがある。現政権の言っていることとは違うが、高浜の街をデモで歩いて、人々の変化に確信が持てるような気がした。今回の主催者である老朽原発うごかす





な！実行委員会」が高浜町の町長に出した公開質問状の回答には国の言いなりにはならない、住民のいのち財産を守るという姿勢が見られたのだ。赤ちゃんを抱っこした三世代の家族が笑顔で門口に立っている。男性が1人玄関先で会釈してる、2階からも手を振っている。住む人の姿が見えた高浜町で、行動することは無駄ではないと思えた。

11.7～けいはんなから平和の風を
冬が来る前に～
高橋純子さんトーク＆川口真由美さんライブ

ほうその奈良の会 堀田美恵子


高橋純子さん

「冬が来る前に」、「いま女たちが」という二つの副題がありました。「二度と戦争はしたくない」という思いで考えた「冬が来る前に」。そして政府や精華町への要請、身近な暮らしの中で弾薬庫建設がどんどん進んで行く現実に立ちはだかるのは男たちの姿ばかり。ここに女たちもいる、暮らしがある、「いま女たちが」抗うということを訴えたい思いから、二つの副題を使い分けました。

昨年は2700人がけいはんな公園に集合しました。今年は近隣でたくさんの集会も重なる中で、350人の参加者となりました。「暮らしの中に弾薬庫がある」ということを伝えたい。精華町内へのポスティング、駅前でのチラシ配りなど、地元精華町、大阪、京都、奈良のメンバーが取り組みました。

祝園分屯地で工事が始まって1年、高市早苗内閣(奈良のおんな)が発足して1年。日本初の女性首相のもとで軍事への比重が増し、憲法が危うくなる危機感の中、講師に高橋純子さん、圧倒的


川口真由美さん

な歌唱力で歌う川口真由美さんを招きました。
『けいはんなの女が奈良のおんなに物申す』ーまさにその思いが伝わる一日となりました。

10.24富雄地域市民の会講演会報告
身近な戦争遺跡から考える平和
―奈良に残る「戦争の記憶」を次の世代へ



講師　末吉洋文さん（帝塚山大学教授）

富雄地域市民の会で帝塚山大学の末吉洋文教授に”身近な戦争遺跡から考える平和“というタイトルで講演いただきました。参加者25名。

講演内容は、富雄地域の戦争遺跡も取上げられ、とてもわかりやすいものでした。平和教育については、戦争遺跡（広島、長崎）を訪問するのも大切だが、”平和をつくるのが大切と考える“教育が求められているとの指摘はその通りです。

質疑応答では、「平和ミュージアムの必要性」、「平和学とは何ものか」、「軍隊は住民を守らない（満州に残された民間人）」が出されました。特に、平和ミュージアムは緊急度の高い課題で県立で設置できないかとの問題提起がありました。住民要求として来年春の知事選に組み込むことの必要性を感じました。　（平川邦昭）

「高市政権が志向するもの」
10.19 ならやま・高の原地域交流会講演会報告



講師 前田徹生桃山学院大学元学長

生存権・社会権がご専門の前田徹生桃山学院大学元学長を講師に招いての講演会に17名が参加。（以下要旨）

高市首相がめざす「強い経済、強い国家」とは。「強い経済」アベノミクス・サナエノミクスは成功していない。円安が進み、燃料代があがり、生産コストが上がり、安いものが作れず物価高になる。国債の利払いで日本への不安感が出てきている。消費税減税、財源はどこに。「強い国家」国家情報局の設置・個人情報保護法・国旗損壊罪・国旗・皇室典範・閣議決定等々。今後、スパイ防止法、「安保3文書」改定（日本国内に軍需巨大産業が生まれ政治家に圧力をかける。アメリカのようにずっと戦争する国になる）、憲法改正（自衛隊を明記・緊急事態条項の設置）などにより、行政権に軍事権力という強大な権力を付与する事になり、「素人は口出すな！軍事はまかせよ！」となり文民統制が効かなくなる。議会に国民の意志が反映されていない事が一番の原因。民主主義を取り戻す制度を整える事が大事。20%で政権を維持できることを崩すことが大事。そのために必要なことは、①企業団体の禁止 ②選挙制度を変える。比例代表制度が大事。③情報公開制度の徹底 ④民主主義的を俯瞰するために公文書の管理 ⑤日本が直面している様々な課題にどう応えていくのか真面目に語れる政治家を育てていく。(佐川愛子)

地域交流会報告

【あいあいおしゃべり会】
＊9月18日「高市首相が進める経済で日本はどうなる？」講師;糸谷哲郎さん 「経済財政運営と改革の基本方針2026」「現代経済の解説（2026）」「憲法第７章『財政』と『財政法』」など資料をもとに学習。＊次回10月23日13時半 憲法について「真相の館」（7月16日放映）DVDを視聴

【学園前・あやめ池・西大寺・平城】
＊8月23日「偽りの隣人～ある諜報員の告白」を上映。16名参加。もし高市首相がスパイ防止法』のような法律を進めるとしたら「安全保障」の名のもとに政治活動や市民の自由が制限されることはないのか、など感想。
＊9月7日・10月12日世話人会 ・情勢論議（沖縄知事選、気候変動と災害、高市の暴走と行き詰まり、ICC、天皇制、戦争国家づくり、財政問題）が行われ、タウントークや総会で発言。地域交流会として11月7日（土）唐招提寺長老講演会参加を呼びかける。地域にチラシ配布。

【佐保・若草地域】
＊9月17日山崎雅弘氏「戦争をあまく見る空気」動画視聴。＊10月20日韓国文学についてお話を聞き、韓国の歴史的背景に改めて心を寄せる。次回11月17日（火）10時～市民の家「中国脅威論の嘘について」

【富雄・帝塚山地域】
＊9月24日18時からペンライトデモを富雄駅で実施。次回10月21日自然農法レポート　次々回10月24日（土）10時から11時半 会場；富雄公民館　講師；帝塚山大学 末吉洋文教授　テーマ；「奈良県下の戦争遺跡から見えてくる平和について」

【ならやまの会・高の原】
＊9月21日「真相の館」（7月16日放映）DVDを視聴 日本国憲法の基本（・憲法は最高法規・憲法に違反する法律は作ってはいけない・憲法は国家権力を縛る。・憲法を変える時、前文と同じ内容でなければいけない）世界各国の憲法は時の反省から生まれている。＊10月19日前田徹生名誉教授を講師として「高市政権が志向するもの」について講演会を開催（別掲）。次回11月16日13時半

【都南・済美・飛鳥・紀寺】＊9月19日（土） 世話人会議　介護・教育・野党共闘に関する内容について意見交流。次回11月21日13時半 岡谷本館２階会議室 テーマ；「統一教会と山上裁判」 講師；前圭一さん（元大阪経済法科大学教授） 次々回12月5日（土）10時 事務局会議

【生駒】＊9月30日災害と開発についての意見交換。学習会を行うことを相談。今後「防災まちづくりと今日的課題」というテーマで山中徹奈良女子大教授の講演を予定。 次回10月27日（火）次々回11月25日（水）午後１時半から生駒コミュニティセンター

戦争を止めよう！憲法を守ろう！　ペンライトデモin富雄



9月24日（木）18時より、近鉄富雄駅東口で富雄・帝塚山地域市民の会主催でペンライトデモ（集会）を行いました。参加者は、ペンライトと自筆のプラカードを持参し、20名が”響け9条“をBGMに、思い思いに1時間アピールをしました。途中、高校生グループが3回に分かれて飛び入り参加。簡単なスピーチをするグループや“戦争はいやだ”、”平和を守れ“とコールするグループで、会場は大いに盛り上がりました。ペンライトデモでは、新しい出会いがあると言われていますが、全くその通りです。高校生グループ以外にも、勤め帰りの人々の参加がありました。従来の集会とは趣きを異にした楽しい集りでした。年内毎月行う予定です。（富雄・帝塚山地域市民の会　平川邦昭）

唐招提寺久保長老講演会案内「不殺生の心で平和と友好を」

9条の会奈良県ネットワーク
木村宥子

11月7日(土)13:45～
学園前ホール



若き日、夢中になって読んだ井上靖の「天平の甍」。苦難の末日本に戒律と文化をもたらした鑑真和上から1300年、その心を伝え続ける寺、唐招提寺の久保孝戒長老をお迎えして講演会を開きます。

日々、子どもたちの未来と人々の生活を奪う戦争が、貧困が、温暖化が、そして法の無視・・・が進んでいます。しかし今の世界はそれにほとんど何の有効な手も打てていません。それでも誰もが安心な社会に一歩でも近づくために私たちに何が出来るか、先ず久保長老のお話に耳を傾けてみましょう。

11月7日（土）13時45分、学園前ホールで皆様のおいでをお待ちしております。

お知らせ

★第53回タウントーク
10月31日（土）11:00～12:00
ＪＲ奈良駅前東口旧駅舎南側
「わたしの政策提言」リレートーク行います。ひと言トークでつなぎます。参加をお待ちしています。

★第54回タウントーク
11月28日（土）11:00～12:00
学園前駅前北口